

～週刊オン★ステージ新聞「バレエとオペラ」関連企画 III～

薄井憲二バレエ・コレクション常設展

vol. 82

## 《夢遊病の女》

会期／2020年11月10日(火)～2021年1月10日(日)

(※休館日はwebでご確認ください)

連載／岸純信(オペラ研究家)

協力／渡辺真弓(オン★ステージ新聞編集長/舞踊評論家)

企画・構成／関典子(薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

現在、「週刊オン★ステージ新聞」(青林堂)にて連載中の「バレエとオペラ」関連企画として、常設展をシリーズ開催いたします。執筆者でオペラ研究家の岸純信氏は、兵庫県立芸術文化センターでも、幾度も講演などを行われています。

本展では、「薄井憲二バレエ・コレクション」から図版提供した記事と共に、実際の資料をご覧いただけます。第三弾は《夢遊病の女》(2020年6月19日号「バレエとオペラ」第6回)より。どうぞお楽しみください。

### ----- 「バレエとオペラ」第6回 岸純信 ----- バレエが生むオペラ 《夢遊病の女》

リチャード・ボニングといえば、「佳曲の発掘」に傾注する指揮者だが、彼がバレエ界にもたらした功績といえば、1827年にパリ・オペラ座で初演の『夢遊病の女 La Somnambule』の世界初音源化である。物語はプロヴァンスを舞台に、夢遊病にかかった娘テレーズが周囲の誤解に苦しむが、最後には幸せになるというもの。作曲家フェルディナン・エロルド(1791～1833 Héroldの末尾のdは要発音)の流麗な音楽美は、ロッシーニやオベールの楽想をたびたび流用するとはいえ、聴くだけで優しい気持ちにさせてくれるのだ。

この『夢遊病の女』を、音楽面から見て『ラ・シルフィード』に先立つロマンティック・バレエと評す向きが多い。門外漢の筆者も、耳を傾けるたび「これをロマンティックと言わずして」と呟くほど。エロルドのバレエでは『ラ・フィユ・マル・ガルデ(リーズの結婚)』が知られるが、『夢遊病の女』も、この機に憶えて頂ければと願う。

ちなみに、本作の台本作者は、《悪魔のロベール》で有名なスクリーブである。彼はまず、1819年に同じ題名のヴォードヴィルを発表し、そのプロットを乙女チックに書き変えてバレエの台本にした。そして、このバレエに触発されてイタリア・オペラの傑作を生み出したのが、「作曲界きってのハンサム」V・ベッリーニ(1801～35)なのである。(中略)

「バランシンもバレエ『夢遊病の女』を作ったんですよ」と教わった。こちらはイタリアの現代作曲家ヴィットリオ・リエティ(1898～1994)が、《夢遊病の女》を含むベッリーニのオペラ(少なくとも5作)から自由にメロディを抜き取り、近代的な和声で再構成した楽曲に、「男性が死ぬ」という悲劇の筋立てを付与したものである。

本作の初演は1946年だが、筆者が動画サイトで観たステージ(改稿版だそう)では、リエティの「モザイク状旋律編み込み術」のアレンジが耳を洗うがごとき効果を及ぼし、「ベッリーニ大幻想曲」とも呼びたい独自の興趣を醸しだしている。バランシンの振付も優美で大詰めも迫力十分と思うので、ファン層にも広く知って頂ければ幸いである。(後略)

### 出展資料

- ◆AP-110 アンティークプリント／『夢遊病の女』／ポリヌ・モンテシュ／1827年頃
- ◆AP-185 アンティークプリント／名高いフランス女優たち(1. タリオーニ 2. ノブレ 3. ジュリア 4. モンテシュ 5. ルガロワ 6. アレクシ)／1830年代
- ◆PO-01 ポスター／『ハーレムの反乱』『夢遊病の女』他／イギリス：ロイヤル・コヴェント・ガーデン／1835年2月4日
- ◆PO-09 ポスター／『夢遊病の女』『ケニルワース』『ラ・シルフィード』／イギリス：ドルリー・レーン劇場／1837年5月3日
- ◆PH-D021-01 ws 写真：署名入り／ジョージ・バランシン／1926年



### 参考映像

- ◆『夢遊病の女』フェルディナン・エロルド(1827)音源

Ferdinand Hérold (1791-1833) :La somnambule,

Ballet-pantomime in three acts (1827)

<https://youtu.be/k1UgDUpcszU>



- ◆『夢遊病の女』振付：ジョージ・バランシン／出演：ミハイル・バリシニコフ、アレクサンドラ・フェリ他／1988年頃

La Somnambula

<https://youtu.be/mKXNgqPSEi0>



(※作品名について、オペラは《》、バレエは『』で表記しております)



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用